

令和3年9月13日

保護者の皆様

盛岡大学附属高等学校
校長 山形 守平

感染拡大リスクの高まりに伴う教育活動について（お知らせ）

このことについて、岩手県から令和3年8月12日付け「新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言」が発出され、さらに、令和3年8月26日に改定されているところですが、県内においては、未だに感染拡大のリスクが高まっている状況にあり、より一層の警戒の必要があります。

本校においても、感染予防対策をこれまで以上に徹底するよう努めてまいりますので、ご家庭におかれましても、ご協力とお子様へのご指導をよろしくお願いいたします。

つきましては、これまでの対応と当面の教育活動について、下記のとおりお知らせいたしますので、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

記

1 教育活動について

登校時のサーマルカメラによる検温、手指消毒、昼食時の黙食指導、手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策、礼拝を全校集会ではなく放送で行うなどの感染拡大リスクが高い場面の回避、身体的距離を確保するといった対応を行っております。

新型コロナウイルス感染症岩手緊急事態宣言に基づいて、次の対応を行っております

- (1) 学校行事を実施する場合は原則として校内限りでの開催としており、文化祭「盛附祭」を保護者の皆様、地域の皆様をお招きせず、生徒・教職員のみで開催しました。
- (2) 部活動については、県の通知の内容を踏まえて、感染症対策を徹底した上で、活動時間を校内で2時間以内としています。
- (3) 県外に加え県内の学校やチーム等との練習試合や合同練習等も禁止とし、原則、校内での活動のみとしています。また、校内合宿も禁止としています。

2 感染予防に係る情報共有について

感染者との接触について、情報を迅速かつ正確に把握してその行動履歴を調査することにより、接触者の絞り込み、囲い込みが進み、まん延を防止することが可能となります。

- (1) 本人のみならずご家族でPCR検査を受検することとなった場合は、学校へご一報ください。別居の場合でも、本人との接触を確認させていただきますのでお知らせください。
- (2) 行動履歴等を基に保健所が判断し、「濃厚接触者」と「接触者」に区別されます。
 - ・「濃厚接触者」・「接触者」とともに、PCR検査の結果で陰性が確認されるまでは、同じクラス、部活動等で接触した生徒も出席停止とします。
 - ・「濃厚接触者」の生徒は、PCR検査の結果が陰性となっても2週間の待機となります。
 - ・「接触者」の生徒は、PCR検査の結果が陰性となれば、学校生活に戻ることができますが、健康観察が必要と判断した時は、相当の待機期間を設けることがあります。
 - ・PCR検査の結果が陽性となった生徒は、県の保健担当者や医療機関の指示により、ホテル療養や入院が指示されます。

3 緊急事態宣言地域及びまん延防止等重点措置地域への移動に係る考え方について

- (1) 進学、就職等の進路に係る試験で、緊急事態宣言地域及びまん延防止等重点措置地域に往来した生徒は、帰県後、登校した際に学校が用意した検査機器で抗原検査を実施し、陰性を確認してから学校生活に戻ることといたします。
- (2) プライベートの往来については、自費で購入していただいた検査機器で抗原検査を行っていただき、陰性を確認してから登校することといたしますので、ご協力をお願いいたします。

4 その他

ご不明の点は、学級担任を通して、本校にお問い合わせください。